



高峯聡一郎沼津市副市長。これまで国内外の様々な都市を見てきた経験を持つ。ももいろクローバーZのファン。

**主体性がつながりを育み、  
つながりが可能性を育てる**

【津賀】 沼津に住み続けたり、働いたり、自分の暮らすまちのことが大好きな人たちが、「どついたらまちがよくなるだろう」と考えていくことや行動していくことがまちづくりなんじゃないかと思っています。

【かのん】 私たちは楽しく英語に親しんでもらいたいという想いから、ボランティアで英語を教えているのですが、それもまちづくりって言えるのかな。

【井草】 すこいーそれも立派なまちづくりだと思っています。

【高峯】 津賀さんも協力して取り組んでいる「Eサポ」ですね。沼津市公民連携まちづくりファンドの採択事業のひとつですよね。高校生が頑張っているというところでも誇らしいです。

【津賀】 ありがとうございます。かのんさん、みどりさんをはじめ、カリキコラムを考えるのは高校生なんです。

彼女たちはバイタリティにあふれていて尊敬してしまうほど。一方で、経済的な部分だけでなく、進め方のアドバイスや、会場設営などでも市役所の人を手伝ってくれているので、本当に助かっています。

【みどり】 始めるにあたって、場所の選定や備品の購入など、皆さんの応援がなかったらできないこともたくさんありました。先輩たちが立ち上げたEサポは、今年で3年目を迎えることができました。

【井草】 青空の下、公園のような新仲見世商店街にふらっと足を運んでみたら、楽しくコミュニケーションが取れて自然と英語が身に付いちゃう、みたいなコラボレーションも面白いですね。

【かのん】 今は会場を借りたり、オンラインでやっているの、屋外でやるのも楽しそう。周りの人達と連携していけばもっと可能性が広がります。

【みどり】 私たちは、楽しいレッスンを心掛けているので、面白そうですね。



市内のデザイン会社サンディオスの代表、津賀由布子さん。沼津市第5次総合計画審議会委員など様々なシーンでまちと関わる。

込めるといいと思います。

【高峯】 ありがとうございます。「こうなったらよくなるんじゃないか」と提案してもらえることは、すこくありがたいです。

【みどり】 提案といえば、沼津のまちで映画のロケ地として使われていると聞きました。エキストラが必要になったときに、興味がある高校生とつなぐ仕組みがあったらいいな。

【井草】 狩野川や沼津港、戸田地区でも撮影が行われています。新仲見世商店街も映画やドラマの撮影に何度か使われているんですよ。実は、私も出演したことがあるんです。

【かのん】 すこいー自分の住んでいるまちで撮影された作品なら、友達に勧めたくありませんし、ちょっとでも自分が映り込んでいたら自慢になりますね。

【津賀】 またひとつ、沼津のまちを好きになる新たなアイデアが生まれまじたね。とても楽しみです。



暁秀高校2年生の森川かのんさん。沼津でお気に入りの場所は狩野川沿い。時には川を眺めながらのランチを楽しむことも。

**コミュニケーションで  
公民連携を強くする**

【井草】 沼津市で新しい形の公民連携によるまちづくりが始まって5年と伺いましたが、まちなかで市役所の職員が歩いている姿をよく見かけるようになったかな。

【津賀】 私もいろいろな場面で市役所の人と話す機会がありますが、物理的にも気持ちの面でも、距離感が近くなってきたな、と思うことがあります。

【高峯】 まちづくりに参加するのは、公も民もないんです。誰もが同じ方向

【津賀】 確かにちょっともどかしい部分も感じます。制度や仕組みのお知らせだけじゃなくて、事業に込められた想いが見えてくると、理解を深めたり共感しやすくなるんじゃないかな。

【井草】 もっと格好よく発信して欲しいですね。今は紙だけじゃなくてインターネットもあるから、うまく活用して、たくさんの人をまちづくりに巻き



井草雅彦さん。新仲見世商店街会長として、積年の課題であった老朽化したアーケードの撤去を進め、新しい景色づくりに奔走中。



立松みどりさん。暁秀高校2年生。得意の英語を活かして、同年代に英語を教えている。好きな食べ物はのっぴパンケーキ味。

にはぜひチャレンジしてみたいです。

【高峯】 頼もしいですね。沼津が好きなのが連携してまちづくりに取り組んでいくと、これまでにない「付加価値」が生まれることが期待できます。

【井草】 一人ひとりが、自分の住まわちを今一度見つめ直して、どんなところが好きか、ここを改善したらもっとよくなるんじゃないかって当事者意識を持つことが大切なんじゃないかな。

【高峯】 その通りですね。「主体的に、まちのために関わろうとする想い」のことを、格好よくいえば「シビックプライド」といいます。言うなればまちへの愛着です。シビックプライドが向上していくと、市民の皆さんの「沼津に住み続けたい」という想いが膨らみます。ですから、主体性を持つことでまちに好循環が生まれるんです。

【津賀】 なるほど。頼重市長が掲げる「誇り高く、元気なまち沼津」というスローガンも、きっとシビックプライドのことなんですね！

**欲しい暮らしは  
自分でつくる**



【津賀】 副市長のお話を伺うことができて、またいつそう沼津の未来は楽しくなりそうだなと嬉しくなりました。

【井草】 高校生の可能性に触れることができたし、私たちももっと頑張らなくては、と思い直しました。

【かのん】 正直に言えば、自分たちのやっていることが「公民連携」かどうかは実感がありませんが、自分たちでできることはやってみたいですね。

【みどり】 難しいことはよくわかりませんが、自分の住むまちが楽しくなったらいいなと思います。

【高峯】 それでいいんです。まちづくりに参加しようと思ったときに、難しいことは考えずに、できることから始めていきたいと思います。

【津賀】 面白そうなお話があることがわかれば、参加したいと思う人も増えるはずですね。「場所がある」ってとても幸せなことだと思っんですよ。

【高峯】 そうですね。みんなで連携して魅力あるまちをつくっていきまじょう。今日はすばらしい時間をありがとうございました。

【一回】 こちらこそ本場にありがとうございました。